

参加により教育活動の一層の向上を図っていききたい。

議員 学校図書館の開放は、基本的には保護者、家族に対して行われ、あとは学校長の判断によるものとして行っているが、現状を伺う。

教育部長 原則として毎週土曜日の午前9時から正午まで実施しており、多くの学校では地域住民も見学や閲覧が可能となっている。

日本無線株撤退後の まちづくりを問う



自由民主クラブ 石井 良司 議員

議員 三鷹から撤退する日本無線(株)と、杏林大新キャンパス等の敷地を合わせる11ヘクタール以上となり地域を一変させる。いかにまちづくりに協力してもらうかが課題だ。考えを問う。

市長 事業用途での誘致を念頭に話し合い、交通環境整備も含め検討している。

議員 周辺の道路環境整備における考え方を問う。

市長 都市再生ゾーン及び住・工調和形成ゾーンに沿った土地利用を誘導し、それに適した整備を進めなければならないと考える。

議員 日本無線(株)撤退後の土地にマンションが増えると保育園や学校の不足等の課題も出る。対応を問う。

子どもの育成環境の向上に 効果的な施策を実施せよ



公明党 寺井 均 議員

議員 子ども・子育て支援新制度が始まるまでの待機児童対策として、都が導

子ども政策部長 同事業は基準を満たさなければ活用できないが、別途、小規模保育施設等の開設支援や新制度での地域型保育事業の基準づくりに取り組む。

議員 家族で読書体験を共有する家読(うちよめ)と、家読した本を学級内で回すリレー家読により、親子の心の交流を学級に広げる試みについて所見を伺う。



プレイパークの様子(北野遊び場広場)

防災行政無線が届きづらい 市民への伝達方法を構築せよ



公明党 赤松 大一 議員

議員 災害時等に漏れなく行政情報を伝えるためには、聞こえる環境整備等が重要だ。防災行政無線をデジタル化した効果を伺う。

市長 信号を解読され、違法な放送がなされる危険性がなくなったほか、音質の向上などの効果があった。

議員 デジタル化に伴い想定外の課題は発生したか。

市長 発生していない。

議員 防災行政無線の内容等について、武蔵野三鷹ケーブルテレビの文字情報で提供を始めた効果を伺う。

市長 防災行政無線が聞き取りにくい場合の確実な情

教育長 家読を通して親子の会話が増えると、子どもの自己肯定感を育み、問題行動等の予防につながる。更に、保護者が子どもの学校での様子に関心を持つなどの効果も期待できる。

議員 小中学生が家庭で動画による講義を見て予習した後、学校の教室で分らない点を教え合う反転授業について、所見を伺う。

教育長 学習習慣の定着に有効なツールになり得るものと考え、先進市の取り組みを参考に研究したい。

議員 北野遊び場広場がなくなってもプレイパークを継続するため、出前プレイパークや事業周知強化の取り組みが必要ではないか。

都市整備部長 候補地の条件等を十分議論し、出前事業の実施を検討したい。

議員 災害時等に漏れなく行政情報を伝えるためには、聞こえる環境整備等が重要だ。防災行政無線をデジタル化した効果を伺う。

市長 信号を解読され、違法な放送がなされる危険性がなくなったほか、音質の向上などの効果があった。

議員 デジタル化に伴い想定外の課題は発生したか。

市長 発生していない。

議員 防災行政無線の内容等について、武蔵野三鷹ケーブルテレビの文字情報で提供を始めた効果を伺う。

市長 防災行政無線が聞き取りにくい場合の確実な情

コンパクトシティを進め 市民生活の利便性の向上を



公明党 粕谷 稔 議員

議員 コミュニティ・センタ(コミセン)等の地域の市民活動の拠点化は、より身近な小学校区域での整備が必要と考える。所見を伺う。

市長 現段階では、検討していない。

議員 コミセンに市政窓口を併設すれば、利便性や財政的課題解消にも有効と考えるが、可能性を聞く。

市長 スペースや自主的なコミュニティ活動への影響等の課題もあり、現在においては困難と考えている。

議員 地域での買い物環境の整備については、商店街やコンビニとの連携が不可欠だ。地域のニーズに合わせた品揃えの提案等も有効と考える。所見を伺う。

空き家条例を制定し 実効性ある住環境対策を



公明党 川原 純子 議員

議員 本市は高環境のまちとして多くの市民に親しまれているが、昨今、空き家の増加による住環境の悪化に不安感を持つ市民もいる。空き家問題に関する実効性ある対策として、空き家条例を早急に制定すべきだ。

生活環境部調整担当部長 条例を制定することで、行政としての関わりが従来のお願いから一歩踏み込んだ

家バンクも有効な手法と考えている。プロジェクトチームで検討していきたい。

議員 住宅やビル等の建物解体工事で、すみかを迫られたネズミが近隣の住宅に入りこむ被害が発生している。ネズミ駆除に対する責任の所在を明らかにするた

生活環境部長 生活環境の維持や良好な近隣関係を保持する観点から、事前に近隣への配慮を行うよう注意喚起するとともに、広報などでの啓発を検討したい。

《その他の質問》災害対策について

ハラスメント防止に向けて より一層の啓発の取り組みを



公明党 緒方 一郎 議員

議員 職員のセクシュアル・ハラスメントに関する相談窓口と相談から解決のプロセスについて聞く。

総務部長 職員健康相談室が窓口で、相談員の助言、セクシュアル・ハラスメント苦情相談処理委員会による調査等の対応が行われる。

議員 特に、本庁舎から物理的に離れた施設での対策と、ボランティア等に対応する場合のハラスメント意識の徹底は必要不可欠だ。

市長 外部職場などでハラスメント防止をテーマとした研修を実施し、職員の意識を更に向上させるとともに、ボランティア等も含めた環境づくりを行いたい。

議員 教育現場における、

楽しく歩けるまちづくりを 市民の健康の維持・向上を



民主党 長島 薫 議員

議員 超高齢社会の進展に向けて医療・介護費抑制は財政運営上不可欠だ。専門家による講座等で、全市民の健康への知識・意識の向上を図り、健康面において